※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０５

令和５年度　理科

教科	理科	科目	(学)ステップアップ理科	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学校の復習をふくめ、みなさんの身近な自然現象や環境問題・身体のつくりや仕組みについて学びます。実験もたくさん行う予定なので楽しみにしていてください。座学でも実験でも自分からどんどん学ぶ態度を望みます。授業ではわからないことを質問したり、自分で考えたことや大事だと思うことをプリントにメモしたりしてください。授業はおもにプリントで進めます。ファイルもこちらで用意します。

２　学習の到達目標

・日常生活と理科との関わりを理解するとともに、基本的な知識を習得し、観察・実験の技能を身に付ける。
・自然の事物や現象についての疑問を持ち、論理的に考察し、総合的に判断して表現する。
・自然や科学技術について、進んで関わり、科学的に探究する姿勢を身に付ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	身体のつくりや細胞小器官・気象・力学や原子についてなど中学校で学んだ内容を体系的に理解するとととともに、それらの知識を使って実験を行い、問題解決に役立てる技能を身につけている。また、身近な自然災害などの題材をとおして、地球上で起きている自然科学の問題についての知識を身につけている。	顕微鏡や油の抽出実験を通して、自ら問題解決の方法を思考し、実際に実験を行うことができる。また、実験結果を自ら分析し、そこからどういったことが言えるのかを表現・発表することができる。また、自然災害や SDGs などの学習を通してデータを読み取り、分析し、問題解決に役立てることができる。	自ら学習や実験に取り組む態度である。問題解決の方法を自ら考え、実験を行い、実験結果に基づいて評価・改善を行い、よりよい問題解決の方法を考えることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	細胞と生物	細胞の構造と動物の分類・進化について基礎的な知識を身につける。実験のルールや適切に実験を行う技能を身につける。	a.　細胞の構造と動物の分類・進化について基礎的な知識を身に着けている。 b.　自ら実験の手順を考え、実験を行うことができる。またその内容を発表できる。 c.　実験内容を自ら考え、問題解決をはかろうとしている。	定期考査	取組姿勢	発表
	気象と環境	天気とその変化・日本の天気と災害・環境問題について基礎的な知識を身につける。	a.　天気とその変化・日本の天気と災害・環境問題について基礎的な知識を身につけている。 b.　災害や環境問題への対策を考え、レポートにまとめて発表することができる。	定期考査	発表	
後期	原子と化学反応	原子や化学反応についての基礎的な知識を身につける。適切に実験を行う技能を身につける。	a.　原子や化学反応についての基礎的な知識を身につけている b.　適切に実験を行う技能を身につけている。 c.　主体的に実験に取り組もうとしている。	定期考査	取組姿勢	実験
	人体の仕組	人体の仕組みについての基礎的な知識を身につける。	a.　人体の仕組みについての基礎的な知識を身につけている。	定期考査		

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度